



## 世界のレンガ建築とドロ잉展

『Gramazio Kohler Research, ETH Zürich, In collaboration with incon.ai』, 『Studio Zhu Pei, 北京』, 『Zero Energy Design Lab, New Dehli』, 『久世二郎建築設計事務所・神田二郎』, 『小出兼久研究室（ドロ잉）』

11月20日～12月25日（月曜日休館）11：00～15：00  
於：岡山県備前市吉永町岩崎 741 煉瓦広場・地下ギャラリー

建物の外壁やファサードは、建築の視覚的アイデンティティ、特徴、表現を決定する。デザインと美的感覚は、建物にユニークな特徴を与えると同時に、建物の内部性能の主要なパラメータとなる。特にファサードは、内部環境と外部環境の接点に位置しており、建物の美観と構造の性能に不可欠な役割を果たす。ファサードの設計では合理的かつ直感的なアプローチの統合的実践が行われ、これは科学と芸術が会うところでもある。生産と技術資源のデジタル化は、洗練されたツールの開発に拍車をかけ、現代建築と都市の実践に影響を与えている。本展示は、こうした最先端の現代建築の中から現代の煉瓦建築について写真などで紹介する。

CURATOR：小出兼久（USA: ASLA）  
ランドスケープアーキテクト

協力 三石耐火煉瓦（株）NPO 法人日本ゼリスケープデザイン研究協会